

年 組 名前：

JR東 新幹線 自動運転へ試験

J R 東日本は11月17日、上越新幹線や北陸新幹線のE7系車両を使った自動運転の試験を新潟市で報道機関に公開しました。新幹線の営業用車両での自動運転の試験は初めてです。試験では緊急時に備え運転士が乗車しました。新潟駅では、運転士が両手を膝に置いたまま、自動列車運転装置（ATO）を取り付けた1編成12両が指令所の遠隔操作で出発。今回設定した最高速度110キロ近くに達した後、約5キロ先の新潟新幹線車両センターで緩やかに停車しました。停止位置とのずれは8センチで、目標とする50センチ以内に収まりました。導入時期は未定で、無人運転が目標ですが、まずは回送車両から導入を目指します。

(2021年11月25日付 山梨日日新聞 週刊こぴっと10面)

問1 JR東日本は、①新幹線 や ②新幹線 の ③車両 を使って自動運転試験を実施しました。目標の停止位置とのずれは ④センチ でした。①～④に入る言葉、数字は何ですか。

① 「 」 ② 「 」 ③ 「 」 ④ 「 」

問2 自動列車運転装置は、英語のアルファベットの頭文字3文字でどう書きますか。

--	--	--

問3 新幹線の自動運転によって可能になると思うものに○を付けてください。

- 「 」 人為的ミスの防止
- 「 」 最高速度がさらにアップ
- 「 」 将来の運転士不足の解消
- 「 」 運行コストの削減
- 「 」 女性運転士を増やせる